

# ウィーンの作曲コン最優秀

たつの出身 藪田さん

## 海外へ足がかり

新進気鋭の作曲家として  
頭角を現しているたつの市  
御津町出身の藪田翔一さん  
(28)が、ウィーンの代表的  
コンサート会場「コンツェ  
ルトハウス」創立100周年  
記念の作曲コンクールの



け足がかりをつかんだ。

コンクールは10部門あり、35カ国から361作品の応募があった。最優秀と認められた作品「Anima」はバイオリンのソロがオーケストラ全体を引っ張る構成で、各楽器の響きの強い部分を生かしたという。来春にコンツェルトハウスである記念演奏会で現地の交響楽団によって演奏される。

藪田さんは東京音楽大学大学院在籍時の2009年から日本音楽コンクール作

ミーの作曲クラスでも最優秀賞を得た。

今回の受賞について「自分の曲がオーケストラで演奏される例は少なく、うれしい。海外留学も検討している。自分の音楽を探りたい」と話す。  
(藤井匠)